

外国人材 雇用を促進

日南市 都内派遣会社と協定

日南市と外国人教育や人材紹介を手がける「ONODERA USER RU N」(オノデラユーザーラ



ン、東京、加藤順社長)は7月28日、「特定技能」の在留資格を持つ外国人の雇用促進に関する連携協定を結んだ。写真。人口減少による人手不足の解消や空家の利活用を目指す。

同社の親会社は、同市でキャンプを行うサッカー・Jリーグ1部横浜FCの運営企業として、市と10年以上関係を築いてきた縁がきっかけで連携は実現。同社が日本の自治体と協定を結ぶのは初という。同社は、日本語や技能を教育する無償学校をアジア各国で運営。入学するに

は、学習意欲の高さなどを見る面接を通過する必要がある、落第することなく半年間学んだ学生を企業に派遣している。

協定では、市内の企業から外国人雇用について市に相談があった場合、市が同社につなぐ。当事者間でマッチングが成立すれば、同社は外国人の生活や就労後の定着を支援し、市は居住可能な空き家の情報を提供する。同社は同市への就労を希望する人材を育成する「日南市クラス」を学校内に設立し、基本事項に加え、歴史や方言など同市についての知識も養う。

市役所であった締結式で、高橋透市長は「特に1次産業や医療・介護の分野で人手不足が深刻。(協定が)解消につながると思う」。加藤社長は「日南市で長く働いてくれる、安全安心で質の高い人材を紹介していきたい」と話した。

(山田健太)

日南
串間

題字・湯浅 心花さん
(吾田小6年)